

日本代協

各地域での代協活動が活発に

第12回日本代協コンベンションを開催



盛大に開かれたコンベンション

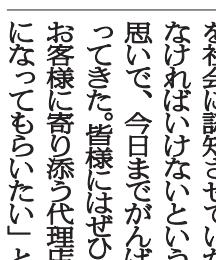
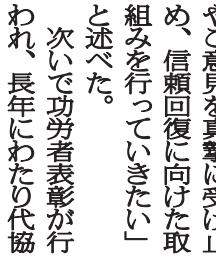
新型コロナウィルスの影響が一段落したなかでの代協活動の現況についてふれた小田島会長は、「地域のボランティア活動や情報の先端を行く勉強会、自社経営体制を強化する実践的なセミナー、工夫を凝らした心温まるCSR行事など、各地で心温まるニュースをたくさん聴かせてもらっている」と話すとともに



小田島会長



大知専務理事



大知専務理事

「同じ業界で保険を取り扱う私たちの長年積み上げてきた信用や信頼までをも揺るがすような『改めてお客様視点に立ち、職業倫理に基づいた正しい損害保険の普及が

厳しく批判。そのうえで謝辞。今後の再発防止に向か取組みについては「当協会としてはこれら

お客様本意の姿勢を再認識

スピード感をもつて取り組む

呼びかけた。

コンベンションで初め

ての試みとなつたパネルディスカッションでは、

「どうする損害保険業界、

今こそ顧客本位の時」を

テーマに、日本代協副会

長の山中尚氏による進行

のもと、株式会社三備保

険事務所の小松原博幸代

表(岡山県代協)と株式

会社ベストパートナーの

門和宏代表(和歌山県代

協)の2氏が自社の取組

を紹介した。

三備保険事務所では月

に一度、損害会議を開いており、あるときは山陽

道で生じた大事故の各種

損害額を自社なりに算

出。そこで得られた結果

を、運送業をはじめとし

た顧客に情報を伝

え、それをもとに最適な

保険を提案するようにし

ている。

また、ベストパートナ

ーでは、コンサルティン

グ更改という造語を自社

のスローガンにするなど

更改時の取組みを重視し

ていると紹介。単に前年

と同内容の契約更改をす

るのではなく、契約者そ

れぞれに不足している穴

(備えの漏れ)をしつか

りと埋めることを心がけ

ており、その達成度合い

信頼揺るがしたBM等問題

業界全体が律する必要性

に、「各地の代協では事業を通じて若手会員が役割を担い専門性を發揮するなど、仲間同士の新たな能力や人柄を知る時間にもなっているのではないか」と述べるなど、仲間同士の新たな重要性などについて深く考へる機会になつたのではないか」と業界全体が

はないか」と業界全体が律する必要性を示した。来賓挨拶した金融庁の三浦保険課長は、ビッグモーター社を巡る保険金

の問題の重大性に鑑み、の発展に取り組んできた会員代理店9氏に小田島会長から感謝状と記念の盾が贈られた。

受賞者を代表して挨拶した香川県代協の沼田忍氏は「代理店といふ職業を社会に認知させていかなければいけないという思いで、今までがんばってきた。皆様にはぜひ、お客様に寄り添う代理店になつてもいいたい」と述べた。

ついで功労者表彰が行われ、信頼回復に向けた取組みを行つていただきたい」と述べた。

われ、長年にわたり代協次いで功労者表彰が行

日本代協は11月17日13時から、東京・港区のグランドニッコー東京台場で第12回日本代協コンベンションを開催した。コンベンションは小田島綾子会長の挨拶で始まり、次いで来賓として金融庁監督局の三浦知宏保険課長、損保協会の大知久一専務理事が挨拶。その後、功労者表彰とパネルディスカッションなどが行われた。なお、翌18日に行われた分科会では4つのゼミが開講された。



(損保版)

第1~4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区朝本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2420円
(消費税、送料込み)
©新日本保険新聞社 2023



三浦保険課長



シンニチ保険Web
www.shinnihon-ins.co.jp
購読者専用バックナンバー
閲覧パスワード
tsukuyomi
2024年2月5日 AMまで
※偶数月の第一月曜日正午ごとに変更